

# 2019年度 特別栽培コシヒカリ(認証③)ごよみ【移植】



月旬別	平成30年		2019年																							
	9月~10月	10月~12月の期間中	4月			5月			6月			7月			8月			9月			9月~10月	10月~12月の期間中				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
時期	土づくり	農閑期	育苗期			田植期、活着期			有効分けつ期			無効分けつ期			幼穂形成期			出穂期			登熟期			収穫期	土づくり	農閑期
水管理	稲わらの踏み込み 作土深15cm以上	湛水管理 (2ヶ月以上)	代掻き			除草剤散布			現地検査			現地検査			間断通水						稲わらの踏み込み 作土深15cm以上	湛水管理 (2ヶ月以上)	土づくり			
管理作業の要点	スタートは土づくりから ケイカルは化学肥料としてカウントしない 土づくり ケイカル 500kg/10a散布	種子温湯消毒 換気の徹底 ハウス内温度は昼間25度以下 カビの発生を抑制する	育 苗 播種時にルーチンエキスパート粒剤を必ず散布有機肥料入り床土を使用 有機肥料入り床土	田植後は浅水管理で分けつ促進。水稻の生育に合わせて除草対策のため深水管理	田植後同時除草剤 カウンシルコンブリート粒剤を散布	最高分けつ期 茎数が25本/株 あれば十分	有機肥料の場合、効果が出るまで約1週間かかる 幼穂長2mm 1回目 1回目の7日後 2回目	ラジコン防除	胴割米対策 収穫2~3日前までの間断通水	通常米と区分して収穫・乾燥	適期刈取 青刈割合10~15% 稲水分 20~25%	排水側の入水も要確認	特別栽培と環境保全の取組	生き物や環境を育む活動 「ふゆみずたんぼ」冬期湛水(2ヶ月以上) 秋耕し 作土深15cm以上 次年度に向けて 酸性土壌の改善 土づくり資材の散布 ケイカル500kg/10a												
化学肥料窒素栽培期間中不使用	有機肥料窒素のみを使用する		ミネラルPK 60kg			有機肥料入り床土			HG有機666 60kg			葉色、茎数、草丈に応じてこだわり有機712を施用 目安 平坦地30kg/10aの2回 山間地25kg/10aの2回			化学肥料窒素合計 不使用											
節減対象農薬 10成分/10a以内	農薬の使用回数 いずれも1回		ダコニール (1成分)			ルーチンエキスパート 箱粒剤 (3成分)			カウンシルコンブリート粒剤 ジャンボ剤 フロアブル剤 (2成分)			クリンチャー粒剤 (1成分)			ラウンドアップ マックスロード液剤 (1成分)			MRジョーカー粉剤DL (1成分)			アルパリン (1成分)			節減対象農薬合計 10成分		